

「平成 27 年度日本万国博覧会記念基金」助成対象事業を 7 月 1 日から募集開始
～「国際文化交流」や「伝統文化の振興」を重点テーマとして助成を強化～

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会（理事長・堀井良殷）では、独立行政法人 日本万国博覧会記念機構の解散に伴い、本年 4 月 1 日より同機構の基金事業を承継。「日本万国博覧会記念基金」（約 190 億円）を承継して、同機構が行ってきた日本万国博覧会の成功を記念するに相応しい国際相互理解の促進に資する活動や文化的活動に対する助成を行っております。

7 月 1 日からは、平成 27 年度の助成対象事業の募集を開始致します。
今回からは、留学生への支援など「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」や、文楽など「日本の伝統文化の伝承、振興活動」を重点テーマとして助成を強化してまいります。

応募された助成申請書は、11 月～1 月にかけて、専門分野ごとの助成事業を専門的な見地から審査する 3 つの「専門部会」（委員は各 5 名）の委員によって、先ず評価、審査されます。その上で、2 月に 7 名の有識者や学識経験者から成る「審査会」で最終審査が行われ、3 月に平成 27 年度の助成対象事業が決定致します。平成 27 年度は、総額約 1 億円の助成を行う予定です。

今回の募集分の審査から、専門部会の体制を改めました。
昨年度までは「環境第 1 部会」、「環境第 2 部会」、「国際相互理解・文化活動部会」の 3 部会で構成し、従来の重点テーマである「環境」に大きくシフトした体制でしたが、今回、規程に定めている助成対象の原点に戻って、「国際交流・相互理解部会」、「学術・教育・環境部会」、「文化・芸術部会」の 3 部会構成としました。

当協会では、従来から取組んできた関西・大阪での文化振興活動に、「日本万国博覧会記念基金事業」や、民による新しい文化支援組織「アーツサポート関西」による助成事業を今年度から加えることで、「振興と助成」を活動の両輪に、関西・大阪での文化の振興を図るとともに、「日本万国博覧会記念基金事業」では支援エリアを関西から全国、さらには世界に広げ、「人類の進歩と調和」の推進に貢献してまいります。

— 記 —

【募集事業名】 平成 27 年度日本万国博覧会記念基金事業

【募集期間】 7 月 1 日（火）～9 月 30 日（火）

【募集説明会】 8 月 7 日（木）15 時～17 時（場所：中之島センタービル 29F 会議室）

【申請書受付】 9 月 1 日（月）～9 月 30 日（火）（30 日までに必着）

【助成対象事業】

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの間に実施される事業で、万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な次の事業が対象です。

（1）国際相互理解の促進に資する活動

- イ．国際文化交流、国際親善に寄与する活動 ※
- ロ．学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
- ハ．自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動

（2）文化的活動

- イ．日本の伝統文化の伝承及び振興活動 ※
- ロ．芸術及び地域文化に関する活動

※印の事業を本年度の「助成重点テーマ」とします。

【ご参考】 詳細については、当協会のHPをご覧ください。

<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/>

★お問合せ先：公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会
万博記念基金事業部：木村明則、甲田洋
Email：kimuraa@osaka21.or.jp；koudah@osaka21.or.jp
TEL：06-7507-2003 / FAX：06-7507-5945